

Dr. Drive大和田店 水素ステーションの開所式について

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、本日、埼玉県初の商用ステーションとなる「Dr. Drive大和田店 水素ステーション(埼玉県さいたま市)」の開所式を行いましたので、お知らせいたします。

式典では、戸邊資源エネルギー庁燃料電池推進室長、半田埼玉県環境部長、本間さいたま市副市長よりご祝辞をいただき、テープカットおよび充填セレモニーを行いました。

当社は、昨年12月25日に、当社商用水素ステーション1号店となる「Dr. Drive海老名中央店(神奈川県海老名市)」を開所し、今年度内には開所済み5カ所の水素ステーションに加え、東京、神奈川、埼玉、千葉および愛知の1都4県に6カ所(合計11カ所)の水素ステーションを順次開所し、水素販売を開始してまいります。

当社は、水素製造ならびに自動車用燃料供給に関わるインフラやノウハウを活かし、水素の「製造」・「輸送」・「販売」の効率的なビジネスモデルの構築を通じて、水素社会の実現に向けて貢献してまいります。

※当社は、次世代自動車振興センター「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」の採択を受けて、23カ所の商用水素ステーションの開所に向けた準備を進めております。

【Dr. Drive大和田店 水素供給設備 概要】

所在地	埼玉県さいたま市見沼区大和田町1丁目1158
運営者	株式会社ENEOSネット
敷地面積(※1)	2,139㎡(647坪)
供給方式	オフサイト方式
水素供給設備	圧縮機、蓄圧器、冷凍機、充填機など
供給能力(※2)	300Nm ³ /h
充填圧力(※3)	70MPa(メガパスカル)
充填時間(※4)	約3分間

※1 サービスステーション部分面積を含む総面積

※2 燃料電池自動車1台に充填できる水素量は最大50Nm³とした場合、1時間当たり5～6台に充填可能な能力

※3 現在販売されている燃料電池自動車に搭載のタンク使用圧力に対応したもの

※4 国際標準規格に基づく70MPa(満タン)までの充填時間

以上

<テープカットの様子>



(左から)

ENEOSネット代表取締役社長 白坂 文彦
 埼玉県環境部長 半田 順春 様
 JX日鉱日石エネルギー取締役社長 杉森 務
 資源エネルギー庁燃料電池推進室長 戸邊 千広 様
 さいたま市副市長 本間 和義 様
 三菱化工機株式会社代表取締役社長 山中 菊雄 様

<燃料電池自動車への充填セレモニー>



<水素ステーション外観>

